

令和3年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

①歴史文化資源の活用につながる保存・修理事業

団体名	事業名	事業内容
一般社団法人 高畑トラスト	藤間家住宅表門及び土塀保 全修理事業	かつて春日神官が住んだ社家住宅である藤間家住宅の活用を目的とした保存・修理事業。藤間家住宅は、18世紀に遡る空間構成や建築意匠を留める唯一の歴史的建造物であり、過去2年間の採択事業により、大屋根と屋内主要部分の保全・整備が進み、R1年度には国有有形文化財に登録された。今年度事業では、歴史建築である藤間家住宅主屋の正面に位置する表門と、その周辺に展開する土塀を修復し、地域の歴史的景観の維持と向上を図る。
天理市 杣之内町自治会	天理市指定有形文化財木造 地蔵菩薩立像保存修理事業	杣之内町に所在する木造地蔵菩薩立像は平安時代の制作とされる市内屈指の古像の一つである。本県仏像は木造の腐朽・虫損が著しく自立できない状況になっており、保存・公開活用の両面において課題が生じている。市指定文化財の永続的な保存を図るとともに、今後の公開活用を円滑に行うため保存修理事業を実施する。

②歴史文化資源活用のための周辺整備事業

団体名	事業名	事業内容
奈良市	文化財解説板製作設置事業	市民や来訪者に奈良の文化財の内容・価値や魅力を広く周知して理解と関心を深めていただくため、文化財の解説板6基を製作し、それぞれの所在地に設置する。日本語解説文の他、外国語表記（英語、中国語、韓国語を基本とする）と、周辺の文化観光資源を示した地図（日本語、英語）を掲載する。芳徳寺柳生家墓所については、墓石の配置を示す解説板を作成し、一昨年度設置した解説板と合わせて見てもらうことで分かりやすさの向上を図る。
大和高田市	大和高田市指定文化財ほか 文化財説明板整備事業	大和高田市に所在する指定文化財等を広く周知し、文化財への理解を促進することを目的とする。併せて観光客の利便性の向上を図る。R2年度に新規指定した市指定文化財の3箇所文化財説明板を設置する。解説文は多言語対応とする。
天理市	黒塚古墳展示館展示解説更 新・多言語化事業	平成14年10月に国指定史跡黒塚古墳のガイダンス施設として開館した黒塚古墳展示館は、山辺の道を訪れるハイカーや史跡探訪の拠点として開館以来延べ約35万人が来館している。開館以来19年が経過して館内の展示解説等が退色・陳腐化しており、外国人入館者への多言語対応も未対応であることから、展示解説の更新・多言語化を図り歴史文化資源の魅力向上を図る。
桜井市	特別史跡山田寺跡 史跡 纏向遺跡のAR技術などを用 いた魅力発信事業	現地でのハード整備のみでは体感することのできない復元建物や調査時の臨場感をデジタルコンテンツを作成することにより見学者に体験、体感していただき、史跡の理解や活用に結びつける。令和3年度については、纏向遺跡で検出した大型建物の3Dモデル等を作成し、インターネット上で公開。また、併せて纏向遺跡や山田寺跡においてこれらコンテンツを発信するQRコード等の仕組み作りを実施する。令和4、5年度には特別史跡山田寺跡のコンテンツを追加し、AR技術を用い、現位置においてスマートフォンやタブレット端末で建物のスケール感、臨場感を見学者に伝える。
宗教法人 榮山寺	奈良県指定文化財榮山寺文 書レプリカ展示事業	榮山寺に参拝された方にどのようなものかを直接伝え、参拝者に広く榮山寺文書を知っていただくためレプリカを作成し説明する。榮山寺文書の歴史的価値を深く理解していただき、文化財の保存、また地域で文化財を保護そして後世に伝えていくことを目的とする。

令和3年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
香芝市	文化財説明板修繕事業	香芝市の文化財の普及啓発を図り、市内に所在する文化財を良好な状態で見学していただくため、同事業を進める上で重要な文化財説明板の内容の充実を図り、周辺環境を整備する。 平成4年以降、市指定文化財の普及啓発を目的に設置した文化財説明板について27年以上経過し、経年劣化によって修繕の必要性がある文化財説明板を順次付け替える。令和2年度は大判の文化財説明板パネル2枚を取り替え、小型の文化財説明板表示面2面の合計4枚の説明板の貼り替えを実施した。令和3年度はステンレス製パネルの説明板付け替え10基、脚付オールステンレス製説明板の表示面貼り替え3基、ステンレス製標柱の表面シート貼り替え1基の合計14基の修繕を行う予定。
宇陀市	宇陀市文化財説明板整備事業	宇陀市内における、指定文化財や歴史文化資源をさらに有効活用するため、現地において解説板等の工作物の設置を行う。 H30～R2事業で設置した「置型解説板」を同種説明板デザインの標準（共通性）とし、R3年度も同様のデザインで実施。併せてQRトランスレーターも使用して多言語化を図り、言語のバリアフリー化を行う。
三郷町	立野城跡解説板設置事業	立野城跡（現城山台住宅地）の眺望から、中世において大和川水運や奈良街道の重要性や、当時の勢力関係を各城跡を繋ぐことで分かりやすく伝えることを目的に、奈良盆地への展望が開けた場所に、中世の歴史ポイントを記した眺望図を設置することで、その地に出城を築くことの地政学的なメリットを訪問者に感じてもらう。
斑鳩町	史跡藤ノ木古墳案内板作成及び設置事業	藤ノ木古墳内の適切な場所に藤ノ木古墳のガイダンス施設である斑鳩町文化財活用センターへの案内板を整備し、来館者の増加を図る。
斑鳩町	史跡中宮寺跡利用案内看板作成事業	来訪者の増加を図るため、分かりやすい利用案内看板を作成する。 利用案内看板5枚を作成する。
高取町教育委員会	検証 飛鳥時代の烽火台 佐田タカヤマ遺跡	R2年度に発掘された佐田タカヤマ遺跡の遺構は飛鳥時代の烽火台の跡かどうか、現地を再現した復元模型と写真や資料を用いて検証する。 模型等展示コーナーをつくり、佐田タカヤマ遺跡の復元模型を設置するとともにパネルを作成し、遺跡の解説等を行う。
明日香村	世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進事業	現在、奈良県、橿原市、桜井市、明日香村で構成している世界遺産「飛鳥・藤原に宮都とその関連資産群」登録推進協議会により、世界遺産登録に向け、推薦書（素案）の執筆や包括的保存管理計画策定のための取り組みを推進している。各市村では、イコモスによる現地調査や来訪者への分かりやすい解説を目的として、構成資産候補の整備を進めているところ。本事業はその一環として、誰もが容易に構成資産候補の価値を知ることができる仕組みを構築することを目的としている。令和3年度は5箇所解説板を設置する。設置にあたっては、地下遺構や、景観に配慮するとともに推薦書（素案）のユネスコへの提出までに内容が変わることが想定されることから、解説板の説明事項を記載する箇所は取替可能な仕様とする。解説の英語版はホームページに記載し、解説板のQRコードで誘導する。

令和3年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
王寺町	明神山ライブカメラ設置・魅力発信事業	明神山は標高273.6mの低い山ながら、360度の景色が楽しめ、大和三山や藤原宮跡、法隆寺、東大寺、平城宮跡、百舌鳥・古市古墳群など多くの史跡や歴史的建造物、5つの世界遺産が見渡せる。山頂にライブカメラを設置することで、山頂まで歩くことが困難な方をはじめとする多くの方に景色を楽しんでもらい、歴史文化資源の魅力に触れていただくことができる。また、明神山を訪れたことのない人にも見ていただくことで、王寺町への誘客を図る。
宗教法人 金峯山寺	金峯山寺秘蔵仏画複製公開事業	金峯山寺に伝来する「吉野曼荼羅」は公開による劣化が懸念され、現在は全く公開されていない。近年、専門家による調査が行われ、改めて確認された文化財的価値を多くの方々に鑑賞していただくために複製品を作り、広く一般に公開する。これにより、この作品が持つ、歴史文化的価値に触れ親しむ機会を創出し、吉野が持つ独特の文化への理解を深める一助とする。また、地元住民には郷土への誇りを醸成し、地域の振興に資するものとする。
宗教法人 金峯山寺	金峯山寺所蔵仏像等説明力向上事業	本堂に安置する数多くの仏像や図額などの什物を、照明器具を設置することで来訪者がより鮮明に見ることを可能とするとともに、それぞれの来歴や意味を解説する説明板を設置することで、来訪者が吉野地域の歴史や文化に触れ親しみ、理解を深める機会を創出する。これらをもって、建造物としての魅力だけでなく、本堂蔵王堂の秘められた魅力を周知し、再来訪意欲の増進、新たなファンの醸成などによる地域の振興に資する。
宗教法人 玉置神社	真名井社殿説明看板設置事業	世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」大峯奥駆道の構成資産である玉置神社の境内に建立されている真名井社殿（真王水神）の説明板を設置して、玉置神社を訪れる人々及び奥駆道を歩く人々に、文化遺産及び世界遺産の歴史・背景等を知ってもらう。
宗教法人 玉置神社	後白河院御幸及び和泉式部参詣記念塔周辺整備事業	世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」大峯奥駆道の構成資産である玉置神社の境内に建立されている後白河院御幸及び和泉式部参詣記念塔の覆屋を修復し、文化財としての価値を保存するとともに、世界遺産である玉置神社を訪れる人々及び奥駆道を歩く人々に、文化遺産の歴史・背景等を知ってもらう。
下北山教育委員会	前鬼周辺遊歩道誘導看板設置事業	登山者・修験者（山伏）が安心・安全な登山が行えるように釈迦ヶ岳、深仙宿山小屋、太古ノ辻の3箇所に木製の道標を建てる。また誘客等にも活用できるように木製で作成し親しみやすいものにする。木にレーザー加工で文字を刻み、山の環境に見合った道標を作成。
川上村	土倉庄三郎翁生誕地周辺整備事業	村の歴史や環境と吉野林業の関係性に着目し、村内各所の史跡（土倉庄三郎翁関連史跡）と展示施設（森と水の源流館）を巡りながら学び、土倉翁の思想・業績を語り継ぎ吉野林業の魅力を村内外に発信することを目的とする。令和元年度で土倉庄三郎翁生誕地である川上村大滝地区の土倉翁ゆかりの地のサイン整備を実施。本年度は、村指定文化財である「土倉翁造林頌徳記念」岸壁碑を間近で眺望できる場所を土倉翁整備の中心地として位置づけ、土倉翁の生涯を学べる年表看板設置、既存の胸像移設、拠点看板設置、磨崖碑文字の清掃及び塗装を実施し拠点地を整備する。

令和3年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

③歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業

団体名	事業名	事業内容
王寺町の文化財を生かした観光拠点づくり協議会	1400年の聖徳太子を体感する周遊ツアー	聖徳太子1400年御遠忌を契機に、王寺町及び周辺町に太子関連の歴史文化資源が数多く所在することを周知し、奈良県内・奈良県外の住民に地域で語り継がれてきた聖徳太子を体感してもらう2つのツアーを開催する。ツアーの企画・運営には大学生グループが参加し、また継続的に波及させるために地域DMO「WESTNARA」が参加する。 ①親子で聖徳太子を体感するスタンプラリー ②アクティブシニア向け「2回目の修学旅行」バスツアー
歴史フェスティバル実行委員会	第10回おもしろ歴史フェスティバル「歴史を愉しむ！！」	歴史・文化資源を多く取り入れた参加体験型のイベントを実施し、特に南中和地域の歴史・文化財の魅力を広く発信することで、観光振興、地域活性化につなげる。10月2・3日の期間、唐古・鍵遺跡史跡公園を舞台に歴史を愉しむをテーマに「聖徳太子とその時代」をテーマに有識者の講演、ウォークイベント等大人から子供まで愉しめる内容を行う。
一般社団法人まほろば芸術ラボ	万葉からの祈りvol2	悠久の歴史を持つ有名神社を会場に日本舞踊や声楽コンサート、レクチャー等を行い聖徳太子の偉業と人々の安寧を願われた精神を伝え世界に発信して「まほろばの地」を知らしめ、また地域住民には歴史を親しむ機会を作り、郷土愛や地域への誇りを喚起することを目的としている。
奈良を詠う、記紀・万葉合唱団	日本書紀編纂1300年を言祝ぐ 合唱と語り芸 記紀・万葉の世界 あな！おもしろ！	日本書紀編纂1300年を記念し、観客及び出演者が記紀・万葉の歌の世界の面白さを共感することを目的とする。 万葉学者・上野誠氏の脚本、作曲家・河合摂子氏の作曲による記紀・万葉の歌を題材とした新作公演。日本書紀の一節を講談、古事記の一節を朗読、万葉集の解説を落語で語り、それぞれの歌を小学生から80代までの世代を超えた団員による合唱で表現し、記紀・万葉の世界による楽しみから深みへ、広がる情感を伝える。
平群史跡を守る会	平群史蹟を守る会創立50周年記念講演会・展示会	令和2年度に創立50周年を迎えた平群史跡を守る会のこれまでの歩みを振り返るとともに、奈良県や平群町ゆかりの歴史文化資源の紹介する講演会や展示を実施する。草の根の文化財保護を実践してきた先人たちの取り組みを顕彰し、地元地域の歴史や、それを織りなすコト・モノへの関心や愛着を育むことを目的とする。
鯨椅子project	鯨椅子project#10「色なき世界」	旧川本家住宅（町家物語館）を周知・県内外からの誘客を促すイベントを行うことで、大和郡山市の地域振興に資する。 観光案内を行うとともに下宿であった時期をフォーカスした内容の演劇を行う。またこの演劇のテーマと町家物語館に因んだインスタレーションの展示を行う。

令和3年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
市尾はにわの会	市尾墓山古墳埋蔵物レプリカ作成会およびはにわ公園完成式典イベント事業	市尾墓山古墳の近辺に（仮称）はにわ公園を作ることによって観光客の増加と地域の憩いの場提供を目指す。市尾墓山古墳から出土したはにわをモチーフに、はにわの復元作成会（約24回）を行う。また（仮称）はにわ公園の完成に当たり、完成式典を執り行い、町内外に周知する。
公益財団法人斑鳩町文化振興財団	奈良・斑鳩歴史講座～聖徳太子1400年御遠忌にむけて～	聖徳太子1400年御遠忌に向け、「聖徳太子」をテーマに偉業や伝承に迫る対談も交えた講演会やパネル展示、雅楽演奏を実施する。太子の「和」の精神と文化財保護の大切さを再認識することを目的とする。
一般社団法人高畑トラスト	藤間家住宅へようこそ	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により発生した歴史建築における一般公開の期間損失を補填するため、アーティストが藤間家住宅の動画を制作、藤間家住宅をオンラインで体験できるウェブコンテンツとして配信する。
あかり祭り実行委員会	あいこいさ祭り 秋の伊勢街道 あかり祭り	聖徳太子ゆかりの古刹として現在も年中行事の際、地元住民の憩いの場として大切にされている宗祐寺を中心として、古い町並みをろうそくの灯りで照らし、当時の雰囲気再現。地元の伝統行事である秋祭りと同日に開催することによって時代行列や御神輿の練り歩きと併せて、文化体験の相乗効果を見込む。
河合町郷土を学ぶ会	河合町史跡&古墳巡り『御墳印帖』プロジェクト	町内の魅力を発信し浸透させるために河合町として、『御墳印プロジェクト』を行っている。それにあわせて、町内の魅力を発信し町内の史跡を発信していくため河合町に因んだ講演会をまほろばホールで行う。講演会を行うことで、史跡巡りにもつなげる。